

授業科目	子どもの保健				実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期
担当教員	田中 沙織					
授業概要	本授業では、子どもの保健の理念を理解し、家族と共に子どもの健やかな生活を支援する意義を学修する。子どもにかかわるときの基礎となる発育・発達を理解し、成長発達過程にある子どもの保健について学修する。さらに、子どもを取り巻く社会の現状を捉え、子どもの疾病、心身の健康状態と把握の方法について学修する。また、保育所をはじめとする各学校・施設における子どもの心身の健康増進のための環境構成や適切な援助法について基礎的な事項を学ぶ。					
授業形態	対面授業			授業方法	ディスカッション、グループワークなどのアクティブラーニング	

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 子どもの保健の理念を理解することができる。 2. 子どもの発育・発達について理解し健康増進のための知識を身に着ける。 3. 子どもの健康や安全で健やかな生活について理解し考える力を養う。 4. 子どもの健康問題や子どもを取り巻く社会の現状を捉え、子どもの保健・母子保健の課題について理解することができる。
理想的レベル	1. 子どもの保健の理念を理解し説明することができる。 2. 子どもの発育・発達について理解し健康増進のための知識を自ら調べ、実践レベルの技能を習得する。 3. 子どもの健康や安全で健やかな生活について理解し課題を解決するための具体的方策を考えることができる。 4. 子どもの健康問題や子どもを取り巻く社会の現状を捉え、課題について多角的視点から地域に貢献するための支援方法を考えることができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	70%	
小テスト	0	
レポート	15%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	15%	
その他	0	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	ナンバリング	WE21606J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

予習：身の回りの出来事や新聞・教科書等で授業内容に関する情報収集を行う。

復習：授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。

4

授業計画

第1回	講義ガイダンス 保健活動の意義と目的を学び、子どもの発達と年齢区分を理解する。
-----	--

第2回	「健康」の概念理解 「健康」に関する概念を解説し、様々な健康を判断する基準について紹介する。
第3回	我が国の子どもの健康課題と対策 子どもの健康に関する現状について概観し、対策について考える。
第4回	子どもの発達と保健（1） 生理機能の発達について解説する。
第5回	子どもの発達と保健（2） 身体機能の発達について解説する。
第6回	子どもの発達と保健（3） 精神機能の発達について解説する。
第7回	子どもの発達と実際 発達および健康状態の観察についてDVD視聴を通して解説する。
第8回	子どもの疾病（1） 子どもの疾病的特徴および予防接種について解説する。
第9回	子どもの疾病（2） 子どもの感染症の種類と特徴についてについて解説する。
第10回	子どもの疾病（3） 感染症以外の疾病や疾病的予防と適切な対応について解説する。
第11回	子どもの疾病（4） 子どもの心身の健康および心身症について解説する。
第12回	職員・家庭・地域との連携 地域の保健活動と虐待防止および母子行政について解説する。
第13回	子どもの安全管理 子どもの安全に関する環境の整備・応急処置について解説する。
第14回	母子保健の現状と課題 子育てをめぐる日本の母親の現状について解説する。
第15回	これからの子どもの保健 授業内容を振り返り、保育の現場で子どもの健康を守り増進していくための課題について議論する。 授業のまとめ・試験
テキスト	子どもの保健 第7版 追補, 巽野 悟郎, 診断と治療社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内容に応じて資料を配布する。
課題に対するフィードバックの方法	毎回小テストを行い、回答を公開します。自分で採点を行い理解度を評価してください。 課題については授業の中で発表の機会を設け、解説を行います。
学生へのメッセージ・コメント	保育所保育指針や解説を理解し、保育士として子どもの心身の健康を維持増進するために必要とされている知識、技術技能、能力は何かを理解してください。 本授業は子どもの心身の健康増進を図る保健活動の基本的知識・技能・資質・能力の習得を目指しています。講義以外でも、日ごろの生活の中で子どもを取り巻く社会環境に关心を向けるよう心が

けてください。また、毎回の授業内容を確実に積み上げられるよう、予習復習を必ず行ってください。

